

「人口ビジョン」及び 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました

【問合わせ】企画課 ☎84-0605

少子高齢化の進展による日本の人口減少は、今後加速度的に進むことが予測されています。本市においても例外ではなく、人口は2009年（平成21年）をピークに減少に転じており、人口減少への対応や地域経済の活性化に向け、「半田市人口ビジョン」と「半田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。



9月に人口ビジョンに対する意見募集を行いました。ご意見はありませんでした。

パブリックコメントの結果をご報告します

しかし、市民アンケートの結果を踏まえつつ、目指すべき将来の方向を定め、これに沿った施策を実施することで、2060年の人口として10万人程度を確保します（グラフ「推計2」）。

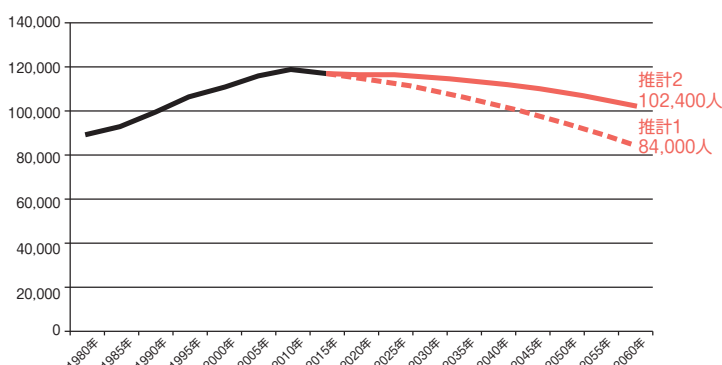
対象期間
2060年まで
人口の現状分析と将来展望
本市の人口は2009年（平成21年）の12万477人をピークに減少に転じており、近年の人口動態等を踏まえ将来人口を推計すると2060年には、84,000人に減少することが見込まれています（グラフ「推計1」）。

人口ビジョンは、人口の現状と将来の展望を示したもので、本市の地方創生を実現するための今後5か年の目標や施策をまとめた「半田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基礎として位置付けるものです。

半田市人口ビジョン

人口の推移と将来展望

--- 推計1
— 推計2
— 実績



目指すべき将来の方向

人口流入（社会増）の確保

- ①産業の振興と企業誘致による雇用の確保
- ②観光産業の活性化
- ③UIJターンの促進

人口流出（社会減）の抑制

- ①地元での就職率の向上
- ②安心・安全で快適な生活環境づくりの推進

若い世代の就労や結婚、子育て環境の改善・支援

- ①出産の希望をかなえるための子育て支援の充実
- ②仕事と家庭の両立しやすい環境整備の推進